

1 概要

- 財団は、EOA (Event Organization Agreement) 等に基づき大会関係者のホテルを確保し、宿泊費等を負担
- 本理事会にて、大会関係者のホテルを決定することの承認を得たい（ホテル名は非公表）

2 ホテルの選定

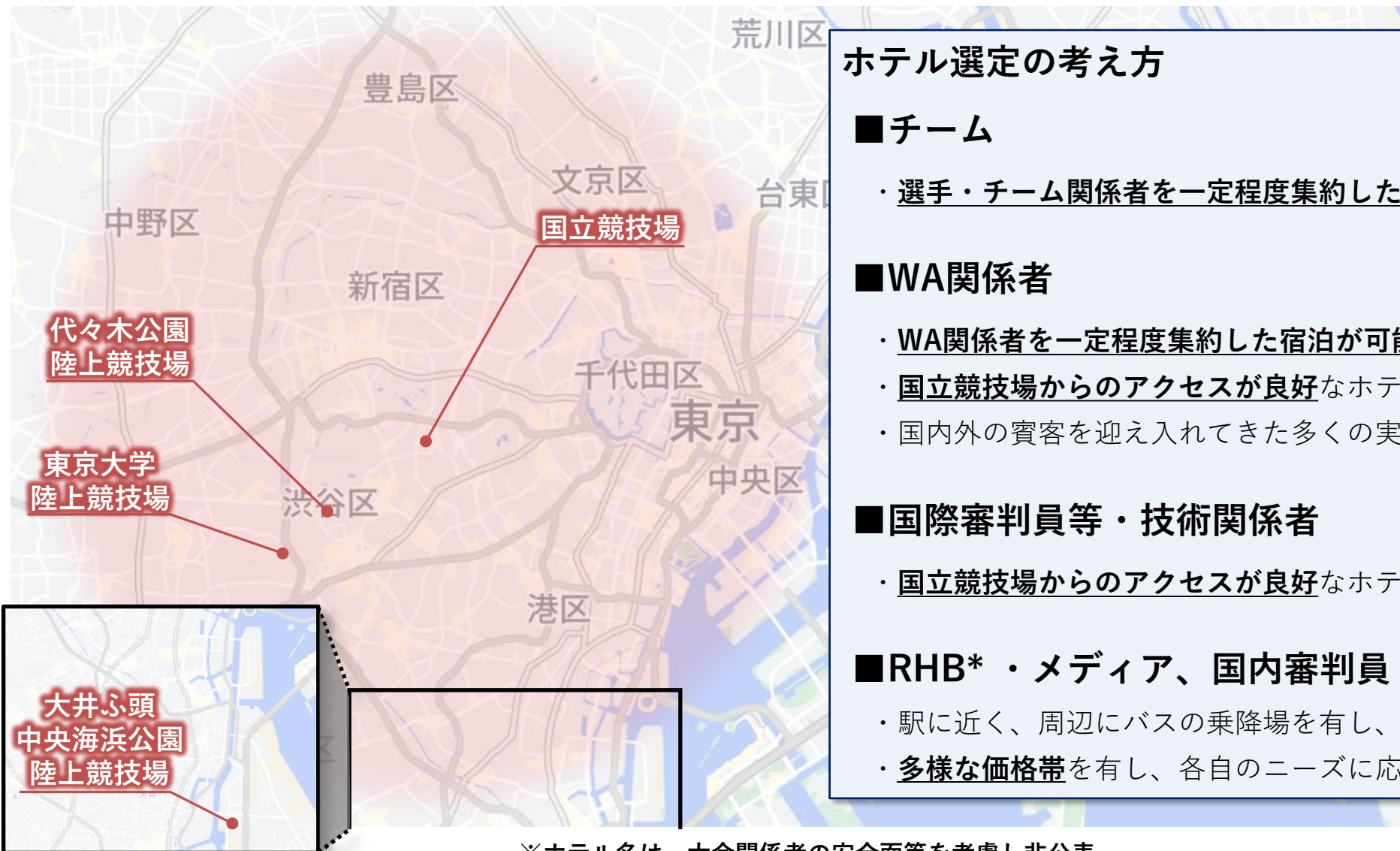
開催基本計画における目標

アスリートセンタードの視点に基づき、アスリートや大会関係者のニーズを反映させることに加え、コンパクトかつ適切な宿泊施設及び付随するサービスを提供します。

ホテルの選定の基本的な考え方

- 国立競技場へのアクセスが良いこと
- 効率的な運営ができるよう、大会関係者が分宿しない、多くの客室を有するホテルを確保すること
- バス及び鉄道により移動できるよう、駅周辺、且つホテルの敷地内や周辺にバスの乗降場を有すること
- RHB・メディア関係者のニーズに対応できるよう、多様な価格帯のホテルを確保すること

3 ホテル選定の考え方



ホテル選定の考え方

■ チーム

- ・ 選手・チーム関係者を一定程度集約した宿泊が可能なホテルを選定

■ WA関係者

- ・ WA関係者を一定程度集約した宿泊が可能なホテルを選定
- ・ 国立競技場からのアクセスが良好なホテルを選定
- ・ 国内外の賓客を迎え入れてきた多くの実績を有するホテルを選定

■ 国際審判員等・技術関係者

- ・ 国立競技場からのアクセスが良好なホテルを選定

■ RHB*・メディア、国内審判員・医療関係者

- ・ 駅に近く、周辺にバスの乗降場を有し、効率的な輸送が可能なホテルを選定
- ・ 多様な価格帯を有し、各自のニーズに応じた選択が可能なホテルを選定

※ホテル名は、大会関係者の安全面等を考慮し非公表

*RHB…Rights Holding Broadcaster

4 ホテルの確保客室数・費用負担区分

宿泊者	確保客室数		対象人数	平均日数	費用負担	根拠規定
チーム (選手・チーム関係者)	宿泊	約2,000室	約2,950名	約8泊～約10泊	財団	EOA
			約550名	約8泊	宿泊者	
	諸室	約19箇所	—	約15日	財団	
WA関係者	宿泊	約700室	約400名	約12泊	財団	
			約550名	約12泊	宿泊者	
	諸室	約13箇所	—	約18日	財団	
国際審判員等 技術関係者	宿泊	約220室	約220名	約16泊～約19泊	財団	財団独自で必要性を判断 (競技運営上の必要性)
			約10名	約17泊～約19泊	宿泊者	
国内審判員 医療関係者		約1,100室	約340名	約12泊	財団	
RHB・メディア			約950名	約14泊	宿泊者	EOA

上記のうち、約3,910名・延べ46,400泊分の客室と諸室（ミーティングルームや理学療法室等）の費用を財団が負担